

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-511285 (P2005-511285A)

【公表日】平成 17 年 4 月 28 日 (2005.4.28)

【年通号数】公開・登録公報 2005-017

【出願番号】特願 2003-550901 (P2003-550901)

【国際特許分類】

B 0 1 J 29/80 (2006.01)

C 0 7 C 6/12 (2006.01)

C 0 7 C 15/085 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 29/80 Z

C 0 7 C 6/12

C 0 7 C 15/085

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 9 月 30 日 (2005.9.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

この第 2 のゼオライト成分は酸形の 1 2 員環を有する任意のゼオライトとすることができる。この好ましい第 2 のゼオライト成分は、ベータゼオライト、M C M - 2 2、M C M - 3 6、M C M - 4 9、E R B - 1、S S Z - 2 5、O m e g a および Y ゼオライトの 1 つ以上から選択され、ベータゼオライトが最も好ましい。ゼオライト M C M - 2 2 は米国特許第 4, 9 9 2, 6 0 6 号に記述され、ゼオライト Y は米国特許第 3, 1 3 0, 0 0 7 号に記述され、そしてこれらの変成形成は米国特許第 4, 4 5 9, 4 2 6 号と米国特許第 4, 7 9 8, 8 1 6 号に記述されている。このゼオライトベータ成分は、存在する場合には、

$[(x/n)M(1 \pm 0.1 - x)TEA]AlO_2 \cdot ySiO_2 \cdot wH_2O$

の組成を有する。ここで、x は 1 未満であり、y は 5 ~ 1 0 0 の範囲内にあり、w は 0 ~ 4 の範囲内にあり、M は周期律表の I A、I I A、I I I A 族に属する金属であるか、あるいは遷移金属であり、そして T E A はテトラエチルアンモニウムである。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

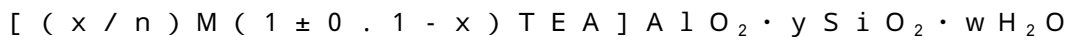
【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

ゼオライト M C M - 2 2 は米国特許第 4, 9 9 2, 6 0 6 号に記述され、ゼオライト Y は米国特許第 3, 1 3 0, 0 0 7 号に記述され、そしてこれらの変成形成は米国特許第 4, 4 5 9, 4 2 6 号と米国特許第 4, 7 9 8, 8 1 6 号に記述されている。ゼオライトベータは、変成形成を含めて当業界で既知であり、最初に米国特許第 3, 3 0 8, 0 6 9 号と U S R e 2 8, 3 4 1 に記述され、後に米国特許第 4, 8 9 1, 4 5 8 号と E P O 4 3 2 8

14に記述されている通りである。このゼオライトベータ成分は、存在する場合には、次の組成を有する。



ここで、 x は1未満であり、 y は5～100の範囲内にあり、 w は0～4の範囲内にあり、 M は周期律表のIA、IIA、IIIA族に属する金属であるか、あるいは遷移金属であり、そしてTEAはテトラエチルアンモニウムである。